

平成24年度 第2回京都市政策評価委員会

日時：平成25年3月15日（金）

午前10時00分～正午

場所：ホテル本能寺4階 檜

次 第

1 開 会

2 議 事

- 1 来年度の改善方針（案） 資料1
- 2 平成25年度市民生活実感調査（案） 資料2
- 3 その他

3 閉 会

（参考資料）

- 1 平成24年度第1回京都市政策評価委員会 摘録（抜粋）
- 2 市民生活実感調査 政策重要度の設問充実（案）
- 3 市民生活実感調査 従来の政策重要度の設問
- 4 平成25年度市民生活実感調査 調査票等一式

京都市政策評価委員会委員名簿

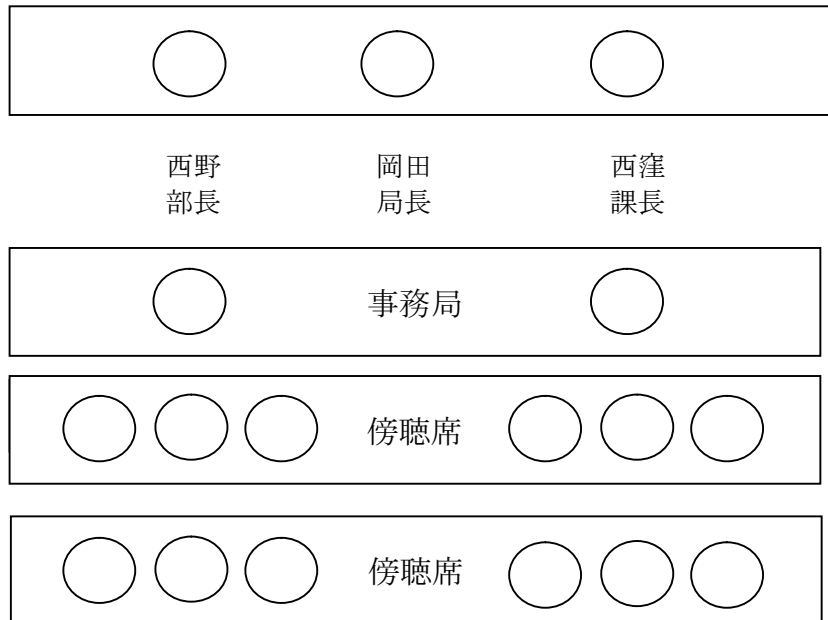
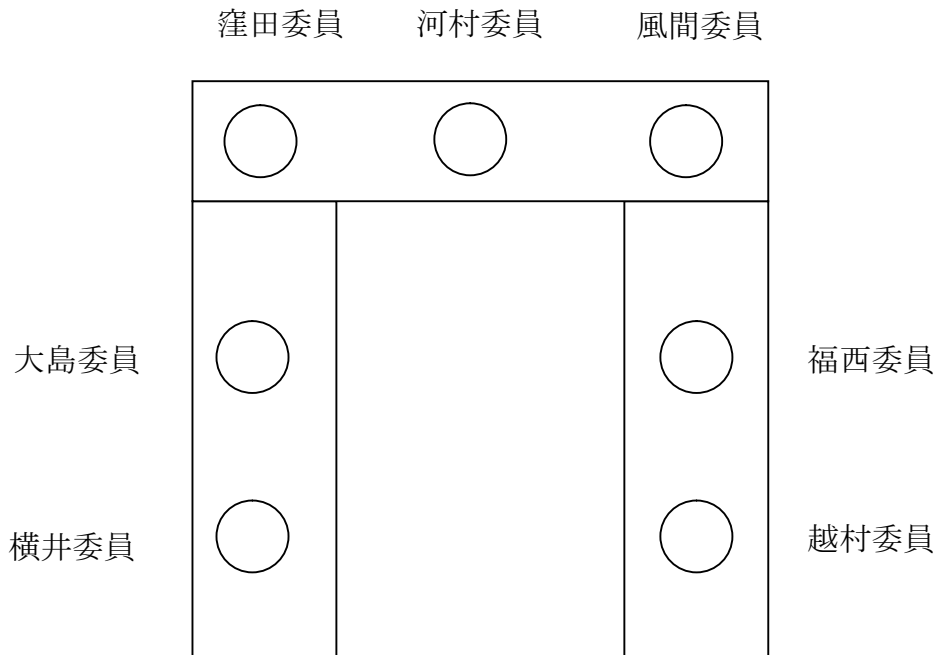
(敬称略・50音順)

氏名	役職等
おおしま さちこ 大島 祥子	楽洛まちぶら会事務局，スーク創生事務所代表
かざま のりお 風間 規男	同志社大学政策学部教授
かわむら りつこ 河村 律子	立命館大学国際関係学部准教授
くぼた よしお 窪田 好男	京都府立大学公共政策学部准教授
こしむら みほこ 越村 美保子	公募委員
ふくにし のぶじ 福西 惟次	公募委員
よこい やすし 横井 康	あずさ監査法人本部理事

任期：3年

- ・学識委員 平成23年7月1日～平成26年6月30日
- ・公募委員 平成23年9月1日～平成26年8月31日

平成24年度 第2回京都市政策評価委員会 配席図



来年度の改善方針について

1 市民生活実感調査「政策重要度」に関する設問の充実について

政策の優先度判断に当たり、より積極的に市民からの意見を反映できるようにするため、市民生活実感調査の「政策重要度」に関する設問を充実し、より有効に活用できる形式としてはどうか。

- 参考資料 2：市民生活実感調査 政策重要度の設問充実（案）
- 参考資料 3：市民生活実感調査 従来の設問

市民生活実感調査は、無作為抽出された 3,000 人の市民を対象に毎年実施する調査であり、その調査結果は市政運営にとって有用な情報源である。

政策の優先度判断に当たり、より積極的に市民からの意見を反映できるようにするため、「政策重要度」の設問を、以下のとおり、更に有効に活用できる形に充実することが望ましい。

○ 現行の形式

27 の政策分野の中から、重要と思う分野を 5 つ選択

○ 充実後の形式

27 の政策分野全てについて、それぞれ 5 段階（重要ではない～重要である）で重要度を評価

2 政策評価制度等に関する広報の充実について

平成 19 年度の行政評価条例の制定時にパンフレットを作成するなど、政策評価制度の周知に取り組んできたが、平成 23 年度から第 2 期基本計画に基づく評価を実施していることなどを更に周知するため、より一層の広報に取り組んでほしい。

平成 16 年度から政策評価制度を本格実施して以降、平成 19 年度の「行政評価条例（京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例）」制定など、機会あるごとに評価制度及び評価結果の周知を図ってきた。

これらの取組により、評価制度は一定定着してきたが、継続的に、市政に関する市民への説明責任を果たし、市民の視点に立った市政の実現を図る必要がある。そのため、平成 23 年度から第 2 期京都市基本計画「はばたけ未来へ！ 京プラン」に基づく政策評価を実施していることを改めて周知するほか、政策評価をもっと大学や学生に取り上げてもらうなどして、制度のより一層の広報に努めるべきである。

3 適切な客観指標の更なる確保について

平成23年度から、「はばたけ未来へ！ 京プラン」に掲げる政策・施策に基づく指標設定に努めているが、引き続き指標を充実していく。

平成23年度以降、「はばたけ未来へ！ 京プラン」に掲げる政策・施策の各段階に応じた客観指標と目標値を設定し、政策等の評価を行っている。

評価の一貫性を担保するため、一度設定した指標は、継続的に使用することを原則としつつも、現行の指標が政策・施策の内容を網羅できているかなどの検証を重ね、費用対効果にも留意しながら、更なる指標の確保に努めるべきである。

1 「複数年にわたり評価結果が低いままの政策への対応」に関する御意見

窪田副委員長

アカウントビリティを果たすという目的に照らすと、C 評価は決して悪い評価でないとは言え、相対的に評価結果が低いままの政策分野を放置しておいてよいのか。具体的な改善なり、てこ入れをする必要がある。

政策・施策ごとに評価の基準が違うため、自ら厳しい目標を掲げた分野が罰せられるような形はどうかと思うが、その原因を分析することは必要だと思う。

それを担当部局がやるのか、総合企画局がやるのか、外注でやるのかという問題はあるが、なるべくコストを掛けずにその点に対応しなければ、評価制度として弱いのではないか。情報提供機能としては十分だが、評価が芳しくないところへの追加の調査や分析を行うことも重要である。

事務局

もっともな御指摘である。

例えば南部地域のまちづくりにおいて企業立地が進んでいなかったり、京町家の普及がなかなか進んでいなかったり、といったことがある。その点は、所管課も評価部局も把握している。

それを何とかするために、予算を措置し、色々な事業を実施する形で取組は進んでおり、政策評価はそれを明らかにする手法の一つだと思う。所管課と共に何らかの形で活性化していきたい。

窪田副委員長

評価結果を踏まえて予算を付けることもそうだが、本来、議会や市民から評価結果が悪いことに対する説明を求めるべきである。ただ、そのような意見がなくとも説明責任を果たしてほしい。

2 「市民生活実感調査に回答しなかった人からの意見聴取」に関する御意見

窪田副委員長

アンケートに答えなかった人に対して回答を求める改善方法としては、調査員を送り込むような方法もある。より良い評価制度にしようと考えたら、回答しなかった人の意見をどう反映するかということを考える必要がある。

福西委員

そもそもアンケート調査とは、そのようなものであり、そこを追求すると回答率 100% が必要となる。調査に答えない人をあえて拾い出すことは不要ではないか。

窪田副委員長

この調査は、他のアンケートに比べてもきっちりチェックできている方だと思う。あまり費用を掛ける必要はないが、何かアプローチできないだろうか。

福西委員

例えば何名かを呼んで、1 時間ほど喋ってもらうなどの方法もあるのではないか。

河村委員長

御指摘は重要なことだが、アンケート調査には限界がある。そういう限界を知りながら、調査結果を利用していくということだと思う。

大島委員

調査結果をどうとらえて、どう活用していくかというのは実際の施策の問題だと思う。この調査結果を市民は満足しているというリトマス紙的に使うのではなく、これをどう読み込んで使っていくのかというのが次の課題である。

福西委員

来た人にどう思われている観光地か、学生の人にどう思われている大学のまちか、ということが重要である。産業観光局で観光調査を実施しているが、学生の人にそのような調査はない。例えば、私は昔の方がもっと学生に優しく思ったと思うが、そのようなことは把握できていない。

河村委員長

市民生活実感調査は、京都市民、つまり京都市に住民票を置いている方に対して実施している調査であり、学生は下宿していても住民票を置いていないことが多い。

観光客や学生に対しては、全く別の観点で考えることが必要であり、この調査は京都市に住む人がどうとらえているかという枠組みである。

窪田副委員長

この調査は、全ての施策に対し、まずは市民がどのように実感しているのかということ把握するための調査である。その先は、各部署で活かしていただくというのでよいかもしれないし、オプションとしてこの分野には市民以外も対象とした調査を実施する、人を集めて意見を聞く、といったことを付けてもよいかもしれない。

ただ、まずは市民の声を聞くという枠組みは維持した方がよい。

3 「市民生活実感調査のサンプル数を増やすこと」に関する御意見

横井委員

市民生活実感調査の分析結果を見ると、東山区はやはり独特な傾向があると言えるのではないか。

事務局

東山区は、人口が少ないため、サンプル数が少ないこともその原因と思われる。

河村委員長

行政区別に分析することも考えると、サンプル数を増やすことを考えることも必要である。

事務局

調査対象を 6,000 人に増やしても東山区のサンプル数はそれほど増えない。

河村委員長

東山区だけ抽出数を増やし、分析の段階で補正することも方法としては可能である。

参考資料 2 : 政策重要度の設問充実 (案)

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

それぞれの政策分野が、あなたにとって今、どれだけ重要か、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。頂いた回答については、今後の市政運営に活用させていただきます。

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか というと 重要 である	どちら とも 言えない	どちらか というと 重要では ない	重要では ない
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]	a	b	c	d	e
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]	a	b	c	d	e
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]	a	b	c	d	e
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもしろい、地域みんなで築く暮らし やすいまちをめざす]	a	b	c	d	e
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してらせるまちをめざす]	a	b	c	d	e
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]	a	b	c	d	e
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちを めざす]	a	b	c	d	e
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]	a	b	c	d	e
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]	a	b	c	d	e
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]	a	b	c	d	e
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]	a	b	c	d	e
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]	a	b	c	d	e
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを 進める]	a	b	c	d	e
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひと、すべてのひとが違いを認め合 い、支え合うまちづくりを推進する]	a	b	c	d	e

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか というと 重要 である	どちら とも 言えない	どちらか というと 重要では ない	重要では ない
15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、 高める]	a	b	c	d	e
16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなでつくる]	a	b	c	d	e
17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	a	b	c	d	e
18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	a	b	c	d	e
19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちを つくる]	a	b	c	d	e
20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	a	b	c	d	e
21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・ コンパクトな都市をつくる]	a	b	c	d	e
22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを 魅了し続けるまちとなる]	a	b	c	d	e
23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心な まちをつくる]	a	b	c	d	e
24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・ まちづくりを継承・発展させる]	a	b	c	d	e
25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	a	b	c	d	e
26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」を めざす]	a	b	c	d	e
27 くらしの水 [ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぐ]	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、5つまで選んで「○欄」に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]		15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、高める]	
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]		16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなで作る]	
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]		17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもいやり、地域のみんなで作る暮らしやすいまちをめざす]		18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してらせるまちをめざす]		19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちをつくる]	
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]		20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちをめざす]		21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・コンパクトな都市をつくる]	
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]		22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを魅了し続けるまちとなる]	
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]		23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心なまちをつくる]	
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]		24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・まちづくりを継承・発展させる]	
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]		25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]		26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」をめざす]	
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを進める]		27 暮らしの水 [ひと まち 暮らしを支える京の水をあすへつなぐ]	
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひとも、すべてのひとが違いを認め合い、支え合うまちづくりを推進する]			

※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示すキャッチフレーズです。

市民生活実感調査（案）

1 平成 25 年度の実施方法について

経年変化を捉えるため、資料 1 に掲げる「政策重要度の設問充実（案）」を除き、昨年度と同様の方法で実施する。

(1) 平成 25 年度市民生活実感調査実施方法

- ・ 設問数
 - 生活実感 130 問（アンケート A 票・B 票各 65 問）
 - 政策重要度 1 問（A 票・B 票共通）
 - 市政関心度 1 問（ ” ）
 - 幸福実感 1 問（ ” ）
- ・ 対象者 3,000 人
- ・ 配付方法 2 組に分けて配布（1,500 人×2 組）
- ※ 資料 1 のとおり「政策重要度」の設問を充実して実施

参考資料 4 市民生活実感調査 調査票等一式

(2) 実施日程

	平成 24 年度	平成 25 年度（案）
調査票郵送	5 月 14 日（月）	5 月 13 日（月）
調査開始	5 月 15 日（火）	5 月 14 日（火）
投函締切	5 月 28 日（月）	5 月 27 日（月）
礼状・督促状送付	5 月 29 日（火）	5 月 28 日（火）
調査終了	6 月 6 日（水）	6 月 5 日（水）
調査期間	23 日間	23 日間

京都市市民生活実感調査にご協力ください

平素から京都市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このアンケート調査は、京都市が取組を進めている様々な分野について、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」、また「何を重要と感じておられるのか」について調査することを目的としています。

アンケートの各設問は、「はばたけ未来へ！京プラン（京都市基本計画）」（平成23年度から10年間の京都市の都市経営の基本となる計画）に掲げる政策分野ごとの「みんなでめざす10年後の姿」を基に作成しました。

皆様からいただいた回答を集計、分析し、その結果を市の政策評価（※）や市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用してまいります。

なお、このアンケート調査は、市民の皆様を感じ方から政策、施策を評価し、今後の市政運営に役立てるために、市内にお住まいの方から無作為に選んだ20歳以上の3,000人の方々に記入をお願いしています。

今回お答えいただきました内容は、統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

何かとご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成25年5月

京都市長 **門川 大作**

※ 政策評価＝政策の目的がどの程度達成されているかを評価し、市民の皆様にお示しするとともに、次の政策、施策の展開に役立てる仕組み

ご記入いただきましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**5月27日（月）までに**投函をお願いいたします。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
京都市総合企画局政策企画室 「京都市市民生活実感調査担当」

電話 075-222-3035 FAX 075-212-2902

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>

〔アンケート調査票は設問数が多いため、2つに分けて実施しています。すべての設問は上記ホームページからご覧いただくことができます。〕

記入方法、記入例は裏面をご覧ください。

記入方法

- アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。
- 直接調査票に記入してください。
- アンケート調査票、返信用封筒には、お名前や住所を記入していただく必要はございません。
- アンケートは「生活実感」、「政策重要度」、「市政関心度」、「幸福実感」、「自由記述」に分かれています。
 - ◇ 「生活実感」（1ページから4ページ）
 - ・ 質問ごとに、あなたの実感やイメージに基づき、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。
 - ・ 質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。
 - ◇ 「政策重要度」（5ページ）
 - ・ 質問ごとに、あなたがその政策をどれだけ重要と感じているか、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。
 - ◇ 「市政関心度」（6ページ）
 - ・ 市政の関心度について、1つ選んで○を付けてください。
 - ◇ 「幸福実感」（7ページ）
 - ・ 幸福に関する実感について、1つ選んで○を付けてください。
 - ◇ 「自由記述」（7ページ）
 - ・ 市に望むこと、アンケートに関することについて、ご意見・ご提案がございましたらご記入ください。

記入例

生活実感
実感やイメージでお答えください。

分からない場合は何も印をしていただかなくて結構です。

質問		選択肢				
		そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも 言えない	どちらかという そう 思わない	そう 思わない
質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。						
環境	Q1. 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。	a	ⓑ	c	d	e
	Q2. 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	a	b	ⓒ	d	e
	Q3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q4. ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	ⓐ	b	c	d	e

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
環境	Q1. 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。	a	b	c	d	e
	Q2. 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	a	b	c	d	e
	Q3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q4. ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	b	c	d	e
人権・ 男女共同参画	Q5. いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	a	b	c	d	e
	Q6. 女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	a	b	c	d	e
青少年の成長と参加	Q7. 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が活かされている。	a	b	c	d	e
	Q8. 青少年がニート※、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。 ※仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと	a	b	c	d	e
市民生活とコミュニティ	Q9. 町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。	a	b	c	d	e
	Q10. 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。	a	b	c	d	e
	Q11. 町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	a	b	c	d	e
生活の安全	Q12. 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	a	b	c	d	e
	Q13. 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
文化	Q14. 市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	a	b	c	d	e
	Q15. 文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	a	b	c	d	e
スポーツ	Q16. プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
産業・商業	Q17. 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	a	b	c	d	e
	Q18. 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	a	b	c	d	e
	Q19. 京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。	a	b	c	d	e
	Q20. 京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。	a	b	c	d	e
観光	Q21. じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。	a	b	c	d	e
	Q22. 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	a	b	c	d	e
	Q23. 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	a	b	c	d	e
	Q24. 京都は、国際会議などが盛んに開かれる MICE※都市になってきている。 ※企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称	a	b	c	d	e
農林業	Q25. 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	a	b	c	d	e
大学	Q26. 京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	a	b	c	d	e
	Q27. 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。	a	b	c	d	e
国際化	Q28. 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。	a	b	c	d	e
	Q29. 国籍、民族、文化等が違って互いに理解し合い、ともにいきいきとくらするまちになっている。	a	b	c	d	e
子育て支援	Q30. 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q31. 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。	a	b	c	d	e
	Q32. 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。	a	b	c	d	e
障害者福祉	Q33. 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。						
障害者福祉	Q34. 働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く見かけるようになっている。	a	b	c	d	e
地域福祉	Q35. 地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q36. 地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。	a	b	c	d	e
高齢者福祉	Q37. 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	a	b	c	d	e
	Q38. 介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい暮らしを送れている。	a	b	c	d	e
保健衛生・医療	Q39. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
	Q40. 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q41. 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	a	b	c	d	e
学校教育	Q42. 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q43. 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	a	b	c	d	e
生涯学習	Q44. 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	b	c	d	e
	Q45. 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
歩くまち	Q46. 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（暮らし方、生き方）が大切にされている。	a	b	c	d	e
	Q47. 京都での移動には公共交通が便利である。	a	b	c	d	e
	Q48. まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	a	b	c	d	e
都市機能	Q49. 田の字地域※や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 ※河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通の幹線道路沿道地区	a	b	c	d	e
	Q50. 京都のまちの南部地域が発展してきている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちら とも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
都市機能	Q51. 身近な地域が魅力的になっている。	a	b	c	d	e
景観	Q52. 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	a	b	c	d	e
	Q53. 大通りや歴史的な地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えている。	a	b	c	d	e
建築物	Q54. 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。	a	b	c	d	e
	Q55. 地震や火災に強い建物が増えている。	a	b	c	d	e
住宅	Q56. 長く大切に使える住宅が増えている。	a	b	c	d	e
	Q57. 身近な地域で空き家が減っている。	a	b	c	d	e
道と緑	Q58. 災害時も安全に移動できる道路網ができています。	a	b	c	d	e
	Q59. 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	a	b	c	d	e
消防・防災	Q60. 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q61. 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。	a	b	c	d	e
	Q62. 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。	a	b	c	d	e
くらしの水	Q63. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	a	b	c	d	e
	Q64. 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。	a	b	c	d	e
	Q65. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	a	b	c	d	e

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。						
環境	Q1. 「きれいな空気，清らかな川，静かなまち」など，よい環境が保たれている。	a	b	c	d	e
	Q2. 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など，環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q3. 京都では，環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	a	b	c	d	e
男女共同参画 人権	Q4. 暮らしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q5. 女性も男性も，仕事と生活（家庭や地域活動など）をバランスよく充実できる社会になってきている。	a	b	c	d	e
青少年の成長と参加	Q6. 青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。	a	b	c	d	e
	Q7. 青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。	a	b	c	d	e
	Q8. 青少年の成長を支援する社会環境と，青少年を受け入れる居場所がある。	a	b	c	d	e
市民生活と コミュニティ	Q9. 地域の一員として安心してらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
	Q10. 多様なNPO*やボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。 ※公益活動を行う市民活動団体の一種	a	b	c	d	e
生活の安全	Q11. 悪質商法などによる消費者被害を防止し，被害を救済するしくみが整っている。	a	b	c	d	e
	Q12. 消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。	a	b	c	d	e
文化	Q13. 京都では，文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	b	c	d	e
	Q14. 文化・芸術活動によって，京都のまち全体が活気づいている。	a	b	c	d	e
スポーツ	Q15. 気軽に体を動かしたり，スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	a	b	c	d	e
	Q16. スポーツイベントや運動会，レクリエーションなどの活動を，スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
産業・ 商業	Q17. 京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。	a	b	c	d	e
	Q18. 京都の商業は盛んで楽しく買物ができ、元気な商業者が多い。	a	b	c	d	e
	Q19. 働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	b	c	d	e
	Q20. ソーシャルビジネス(社会的企業)*が育ってきている。 ※社会問題(まちづくり, 少子高齢化, 環境問題など)の解決を目的として収益事業に取り組む事業体	a	b	c	d	e
観光	Q21. 京都は、観光客にとって質の高い観光都市である。	a	b	c	d	e
	Q22. 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。	a	b	c	d	e
	Q23. 京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	a	b	c	d	e
農 林 業	Q24. 京都の農林業が魅力を増し、後継者や新たな担い手が育っている。	a	b	c	d	e
	Q25. 市民農園や森林を守る運動, 学校の体験学習などにより, 京都の農林業が身近になってきている。	a	b	c	d	e
大 学	Q26. 京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し, 多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
	Q27. 京都の大学は, 世界に貢献する高い研究成果を上げている。	a	b	c	d	e
	Q28. 大学の人材や研究成果は, 産業の活性化と雇用の創出に役立ち, 地域の発展にもつながっている。	a	b	c	d	e
国 際 化	Q29. 京都は, 文化資産の継承, 環境にやさしい取組などを通して, 平和都市として国際社会に貢献している。	a	b	c	d	e
	Q30. 京都では, 市民, 民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
子 育 て 支 援	Q31. 京都では, 子どものいのちと人権が大切にされている。	a	b	c	d	e
	Q32. 働き方の見直しや男性の育児参加など, 仕事と子育ての両立に取り組むひとや企業が増えている。	a	b	c	d	e
障 害 者 福 祉	Q33. 障害への理解が進み, 障害のあるひともないひとも, 認め合い, 支え合ってくださるまちになっている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
障害者福祉	Q34. バリアフリー※などの生活しやすい社会環境の整備が進み、くらしやすいまちになっている。 ※高齢者や障害のあるひとが社会生活をしていくうえでの障壁（バリア）を除去し、ハンディキャップなく生活できるようにすること。	a	b	c	d	e
	Q35. 社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。	a	b	c	d	e
地域福祉	Q36. 地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	a	b	c	d	e
	Q37. 高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	a	b	c	d	e
高齢者福祉	Q38. 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してくらするまちになっている。	a	b	c	d	e
	Q39. 高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	b	c	d	e
	Q40. 利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	a	b	c	d	e
保健衛生・医療	Q41. 公共の場では禁煙が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q42. 保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。	a	b	c	d	e
学校教育	Q43. 学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。	a	b	c	d	e
	Q44. 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	a	b	c	d	e
	Q45. 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	a	b	c	d	e
生涯学習	Q46. 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q47. 歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	a	b	c	d	e
歩くまち	Q48. 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	a	b	c	d	e
	Q49. 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。	a	b	c	d	e
	Q50. 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。	a	b	c	d	e
都市機能		a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
都市機能	Q51. 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q52. 京都の個性的な町並み景観が守られている。	a	b	c	d	e
	Q53. 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。	a	b	c	d	e
景観	Q54. 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	a	b	c	d	e
	Q55. バリアフリー化された建物が増えている。	a	b	c	d	e
建築物	Q56. 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくなるよう改善されている。	a	b	c	d	e
	Q57. 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔てなく参加している。	a	b	c	d	e
住宅	Q58. 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	a	b	c	d	e
	Q59. 京都は緑が豊かである。	a	b	c	d	e
道と緑	Q60. 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	a	b	c	d	e
	Q61. 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
消防・防災	Q62. 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	a	b	c	d	e
	Q63. 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	a	b	c	d	e
くらしの水	Q64. 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	a	b	c	d	e
	Q65. 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

それぞれの政策分野が、あなたにとって今、どれだけ重要か、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。頂いた回答については、今後の市政運営に活用させていただきます。

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか というと 重要 である	どちら とも 言えない	どちらか というと 重要では ない	重要では ない
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]	a	b	c	d	e
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]	a	b	c	d	e
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]	a	b	c	d	e
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもしろい、地域みんなで築く暮らし やすいまちをめざす]	a	b	c	d	e
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してらせるまちをめざす]	a	b	c	d	e
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]	a	b	c	d	e
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちを めざす]	a	b	c	d	e
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]	a	b	c	d	e
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]	a	b	c	d	e
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]	a	b	c	d	e
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]	a	b	c	d	e
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]	a	b	c	d	e
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを 進める]	a	b	c	d	e
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひと、すべてのひとが違いを認め合 い、支え合うまちづくりを推進する]	a	b	c	d	e

分野・政策名 ※ []は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示す キャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要 である	どちらか というと 重要 である	どちら とも 言えない	どちらか というと 重要では ない	重要では ない
15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、 高める]	a	b	c	d	e
16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなでつくる]	a	b	c	d	e
17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	a	b	c	d	e
18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	a	b	c	d	e
19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちを つくる]	a	b	c	d	e
20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	a	b	c	d	e
21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・ コンパクトな都市をつくる]	a	b	c	d	e
22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを 魅了し続けるまちとなる]	a	b	c	d	e
23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心な まちをつくる]	a	b	c	d	e
24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・ まちづくりを継承・発展させる]	a	b	c	d	e
25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	a	b	c	d	e
26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」を めざす]	a	b	c	d	e
27 くらしの水 [ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぐ]	a	b	c	d	e

市政関心度

あなたは京都市政に関心がありますか。次の中から1つ選び○を付けてください。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 2. 少しは関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

幸福実感

今、あなたは幸せだと思いますか。次の中から1つ選び○を付けてください。

- | | | |
|---------------------|------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと思う | 2. どちらかという幸せだと思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかという幸せではないと思う | 5. 不幸せだと思う | |

自由記述

市に望むこと、このアンケートに関すること、その他何でも結構です。ご意見、ご提案がございましたら、ご記入ください。(特に、アンケートで無回答、「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合、その理由をお聞かせいただければ幸いです。)

◇ 最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について、該当する番号を1つ選び○を付けてください。

① 性別

1. 男 2. 女

② 年齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上

③ 職業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他（ ）

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて5月27日(月)までに投函をお願いいたします。